

中標津町子ども・子育て支援に関する
アンケート（ニーズ）調査

結果報告書

概要版

令和6年3月

目 次

調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の方法.....	1
3 この報告書のみかた.....	1
調査結果.....	2
I 基本情報.....	2
お住まいの地域について.....	2
お子さんご家族の状況について.....	3
保護者の就労状況について.....	5
II 就学前児童の保護者に関する設問.....	6
5歳以下のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況・利用希望について.....	6
5歳以下のお子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	10
家庭の子育て、地域の子育て環境について.....	11
III 小学生の保護者に関する設問.....	15
小学生のお子さんについて.....	15

調査の概要

1 調査の目的

令和6年度で第2期中標津町子ども・子育て支援事業計画の期間が最終年度を迎えることから、計画の見直しに向けて、教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」などを把握するために、保護者の方を対象にアンケート調査を実施しました。

本報告書は、「中標津町子ども・子育て支援に関するアンケート（ニーズ）調査」の集計結果をとりまとめたものです。

2 調査の方法

■調査対象：町内在住の、小学校3年生以下のお子さんのいる保護者 1,024世帯

■調査期間：令和5年12月4日～12月22日

■調査方法：郵送配布・郵送回収、及び郵送配布・インターネットサイトでの回収

	配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
合計	1024票	426票	409票	39.9%

※インターネットからの回答については、回答が完了しておらず、回答率が30%を下回るものについては無効票扱いとした。

3 この報告書のみかた

■集計結果はすべて、小数点第2位を四捨五入しているため、比率（%）の合計が100%にならないことがあります。

■図表では、コンピュータ入力の都合上、回答の選択肢の文言を短縮している場合があります。

■階層集計の比率（%）は、すべて各階層の該当対象者数を100%として算出しています。

■回答比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出しました。2つ以上の回答を求める設問では、比率（%）の合計は100%を超えています。

■グラフのn数（number of case）は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

■一部の設問については、前回の調査結果（平成31年1月実施）と比較しています。

調査結果

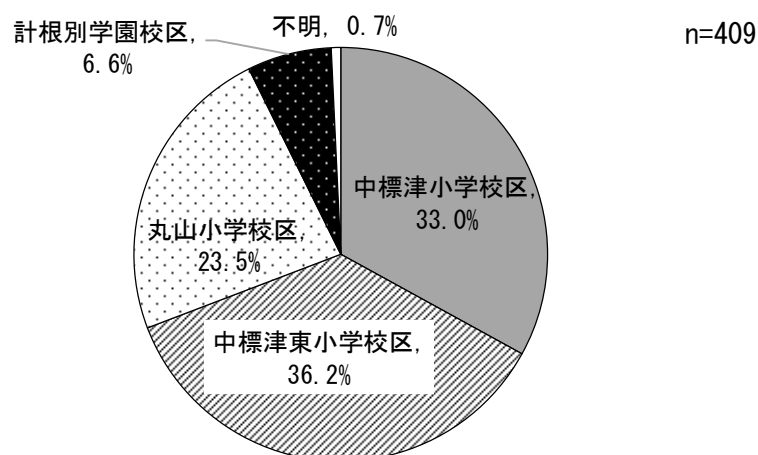
I 基本情報

お住まいの地域について

【居住地区】

問1 お住まいの地区（小学校区）はどちらですか。（1つに○）

「中標津小学校区」が33.0%、「中標津東小学校区」が36.2%、「丸山小学校区」が23.5%、「計根別学園校区」が6.6%となっています。



お子さんご家族の状況について

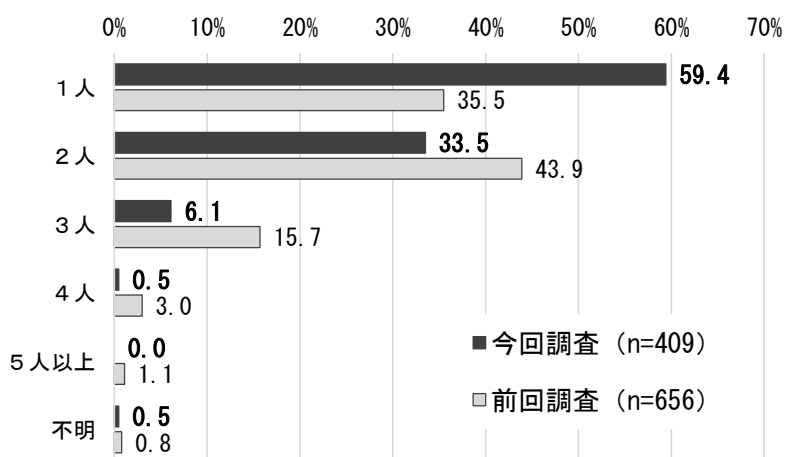
【お子さんの状況】

問2 お子さんの状況をお答えください。

■お子さんの人数

今回調査では、「1人」の割合が最も高く59.4%、次いで「2人」が33.5%、「3人」が6.1%、「4人」が0.5%となっています。

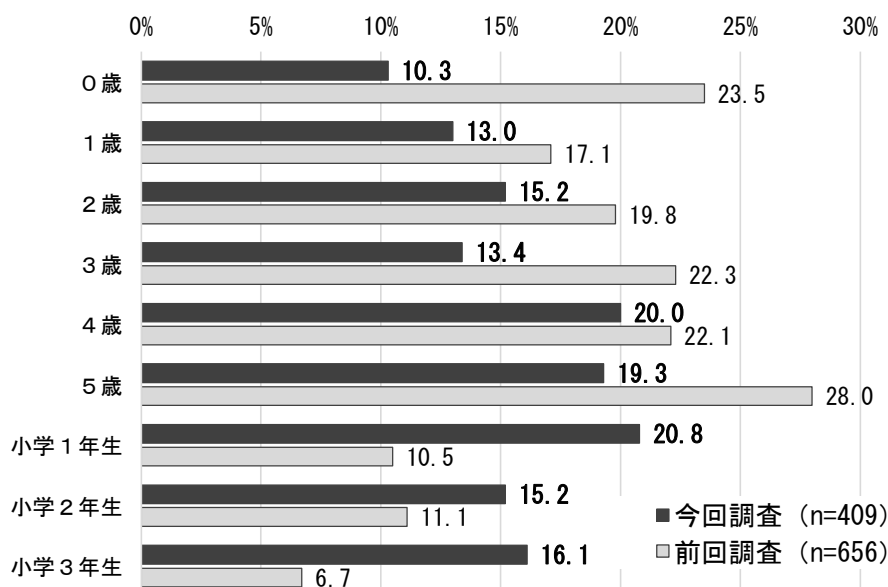
前回調査との比較では、「1人」が大きく増加し、「2人」「3人」は減少しています。全体的に、子どもの数は減少しています。



■お子さん全員の年齢・学年

今回調査では、「小学1年生」の割合が最も高く20.8%、次いで「4歳」が20.0%、「5歳」が19.3%と続いています。

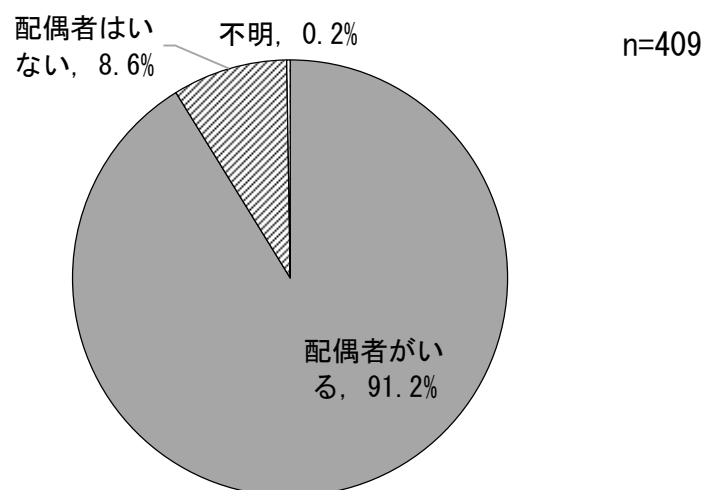
前回調査との比較では、「小学1年生」以上では増加していますが、「5歳」までの年齢層では減少しています。



【回答者の配偶関係】

問 4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（1つに○）

「配偶者がいる」は91.2%、「配偶者はいない」は8.6%となっています。



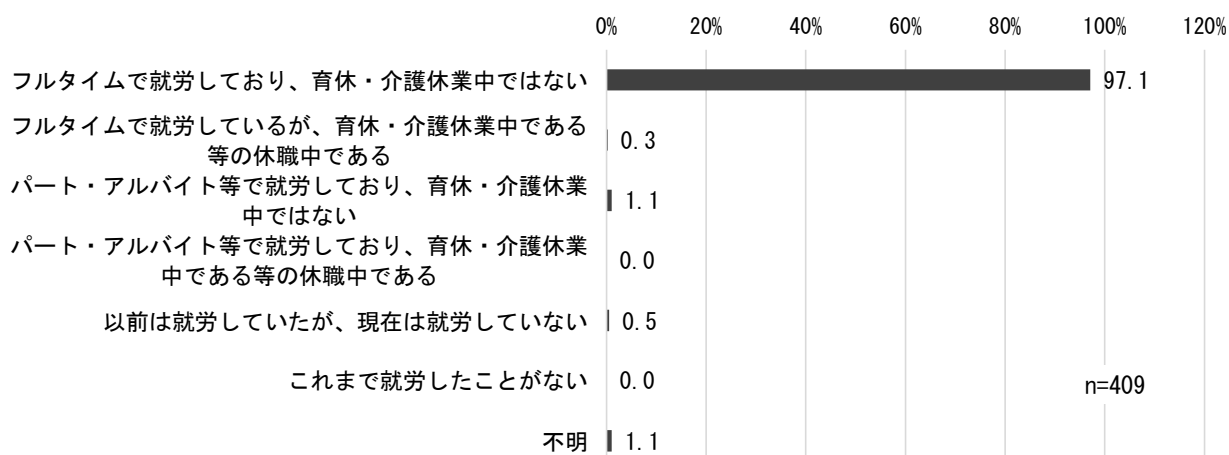
保護者の就労状況について

【保護者の就労状況】

問 6 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

■父親

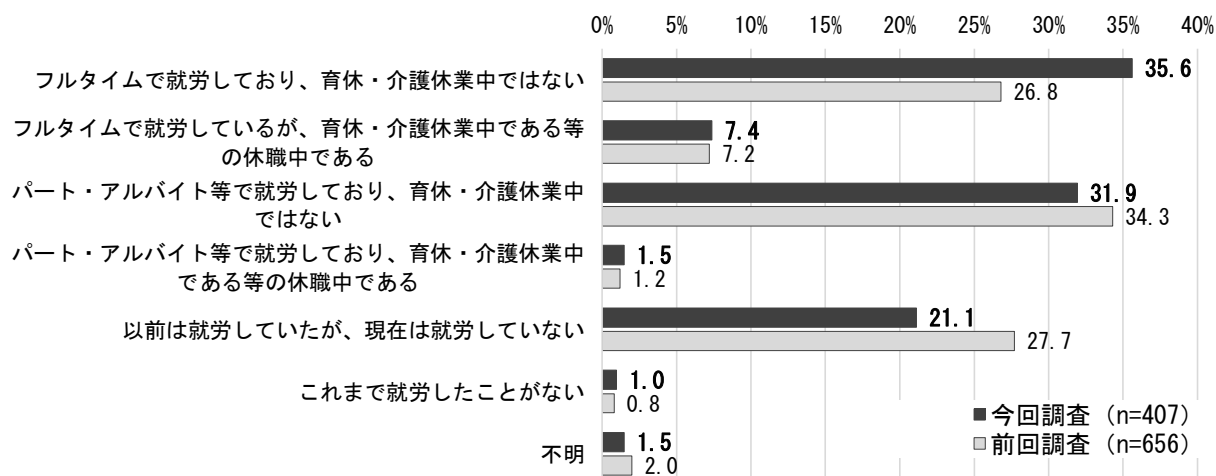
「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が最も高く、97.1%となっています。



■母親

今回調査では、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が最も高く 35.6%となっています。

前回調査との比較では、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が減少しています。



Ⅱ 就学前児童の保護者に関する設問

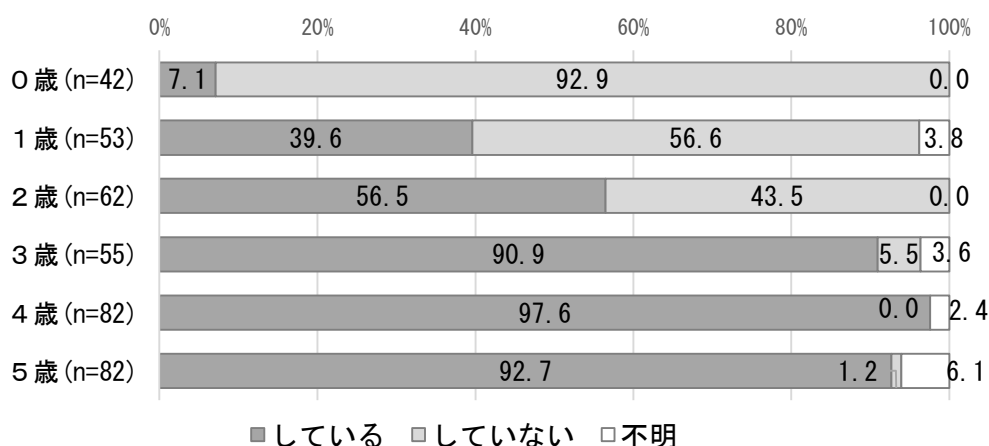
5歳以下のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況・利用希望について

【定期的な教育・保育の事業利用】

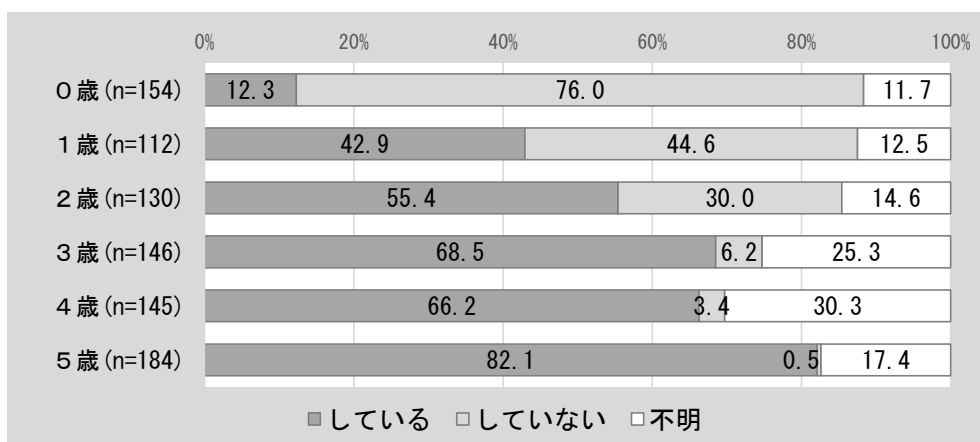
問 10 お子さんは現在、下の「問 10-1」の点線で囲んだ枠の中にある幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。（0歳から5歳までのお子さんがいる場合、該当する年齢それぞれ1つに○）

■年齢別の定期的な教育・保育事業」を利用している人の割合

「0歳」での利用は7.1%、「1歳」は39.6%、「2歳」は56.5%、「3歳」以上では9割を超えています。



(参考：前回調査結果)



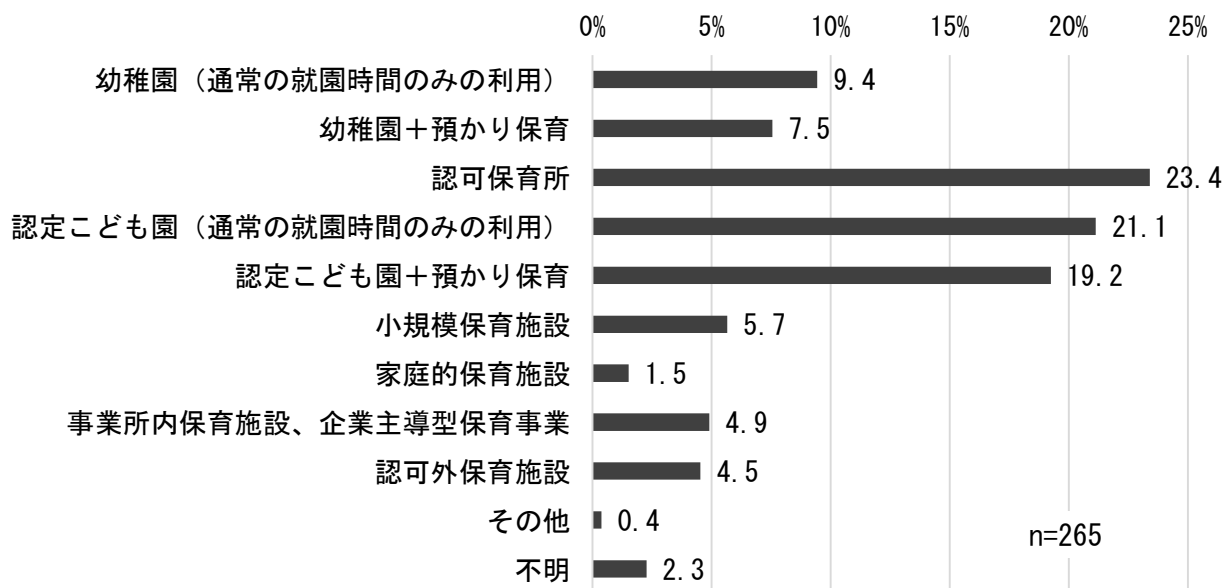
【利用している事業の種類】

問10-1 問10で「1.」に○をつけた方にうかがいます。

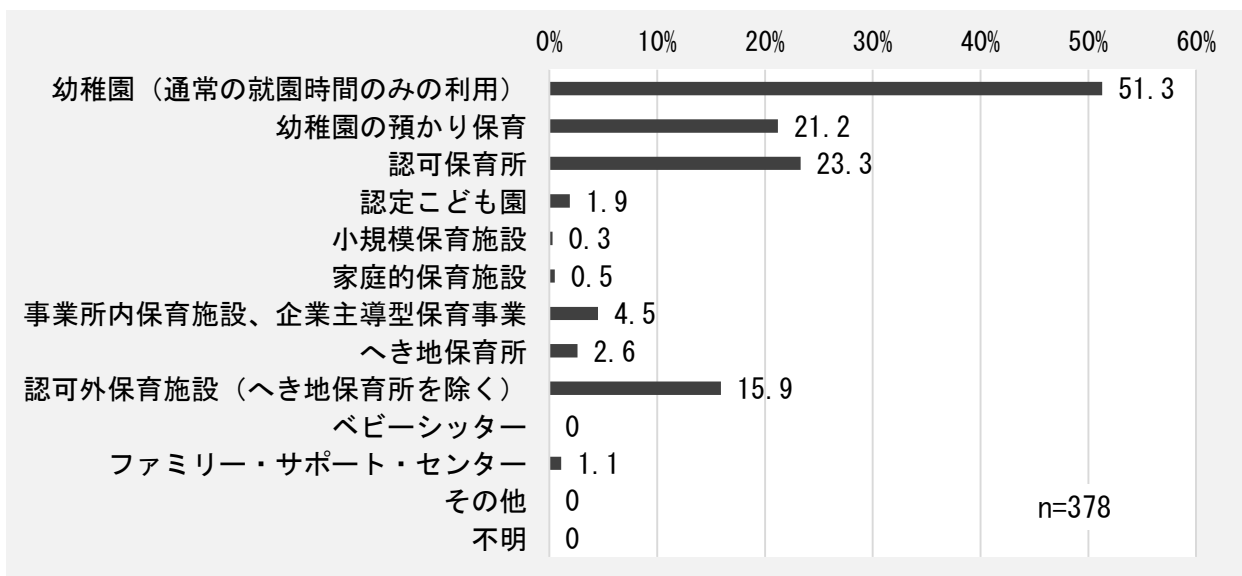
お子さんは現在、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。「定期的に」利用しているものを点線で囲んだ枠の中から選び、数字に○をつけてお答えください。また、現在の利用日数や時間、時間帯と、今後の利用希望についてもお記入ください。

次のページの回答例を参考に、お子さんの該当する年齢欄に数字を記入してください。

「認可保育所」の割合が最も高く 23.4%、次いで「認定こども園（通常の就園時間のみの利用）」が 21.1%、「認定こども園＋預かり保育」が 19.2%となっています。



（参考：前回調査結果）



※中標津町の認定こども園は平成 31 年 4 月から開設されており、前回調査時の「認定こども園」を利用しているという回答は、幼稚園や認可保育所の利用を意味していた可能性があります。

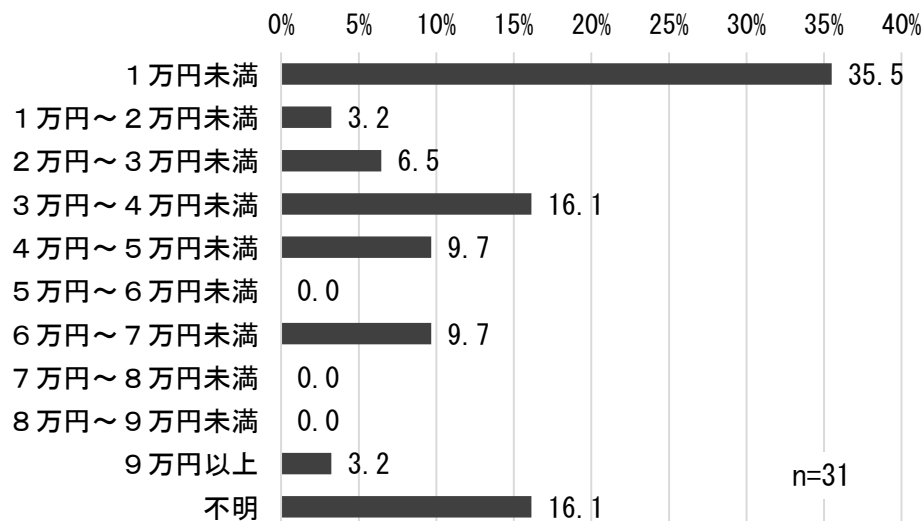
【現在の保育料について】

問10-2 問10-1で「3.」、「5.」、「6.」に○をつけ、0～2歳のお子さんの保育料を支払っている方にうかがいます。

現在利用している保育料はどのくらいですか。

※0～2歳の間で、2人以上利用している場合は、年齢が上のお子さんについてお答えください。

「1万円未満」が最も高く 35.5%、次いで「3万円～4万円未満」が 16.1%と続きます。

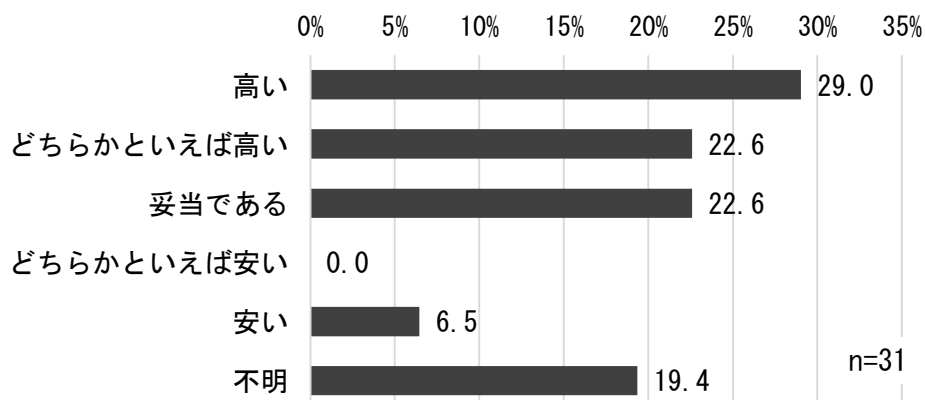


【現在の保育料の感じ方】

問 10-3 問 10-2 で回答した保育料について、どのように思いますか。

※0～2歳の間で、2人以上利用している場合は、年齢が上のお子さんについてお答えください。

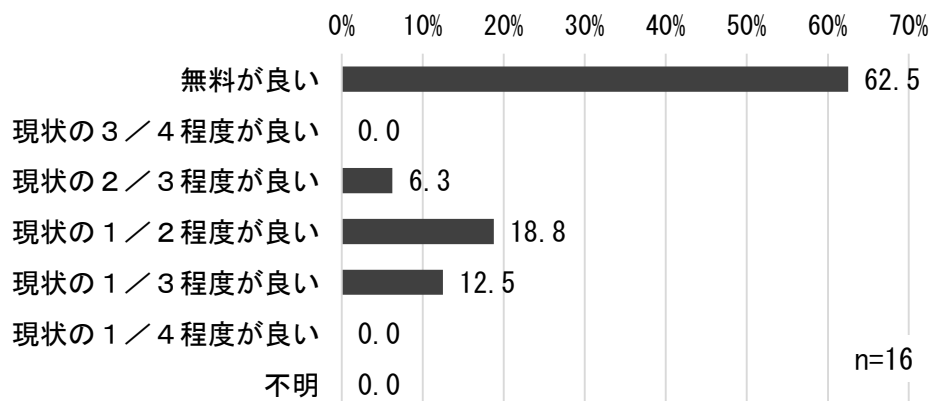
「高い」が 29.0%、「どちらかといえば高い」が 22.6%で、合わせて 51.6%が高いと感じています。



【妥当と感じられる保育料】

問 10-4 問 10-3 で「1.」か「2.」に○をつけた方にうかがいます。
いくら位の利用料（保育料）が良いと思いますか。

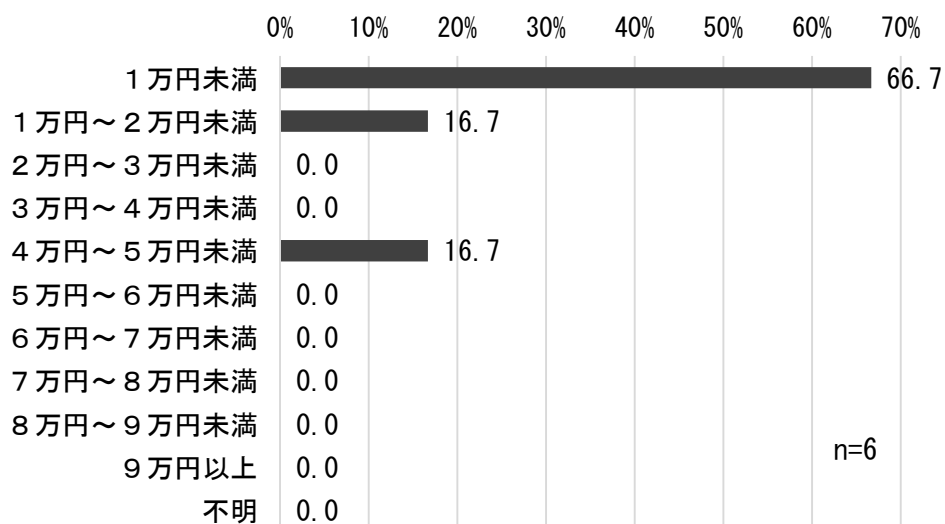
「無料が良い」が最も高く 62.5%、次いで、「現状の 1 / 2 程度が良い」が 18.8%、「現状の 1 / 3 程度が良い」が 12.5%となっています。



【希望する具体的な保育料】

問 10-5 問 10-4 で「2.」～「6.」に○をつけた方にうかがいます。
実際の金額（保育料の月額）は、どの位が良いと思いますか。

「1 万円未満」が最も高く、66.7%となっています。



5歳以下のお子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方について

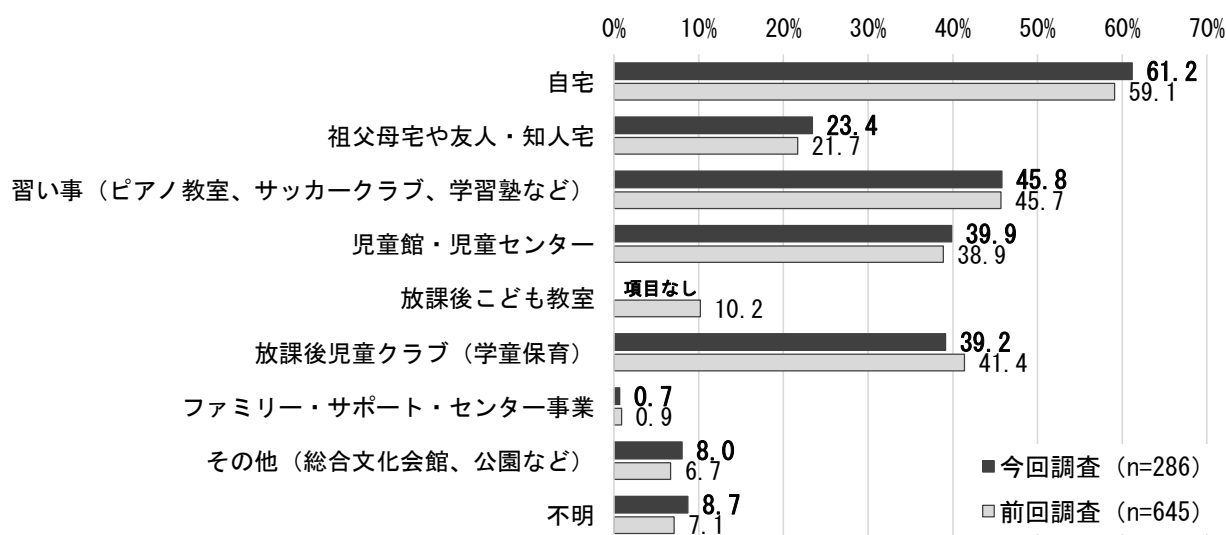
【放課後の過ごし方】

問 20 お子さんが小学校に入学した後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年と高学年、それぞれの期間についてあてはまる番号全てに○をつけてください。（現在、お持ちのイメージでお答えください。）

また、利用を希望する日数（放課後児童クラブの場合は利用希望時間も）[]内に数字でご記入ください。※時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

今回調査では、「自宅」が最も高く61.2%、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が45.8%、「児童館・児童センター」が39.9%、「放課後児童クラブ（学童保育）」39.2%と続いています。

前回調査との比較では、大きな差は見られず、同様の傾向となっています。



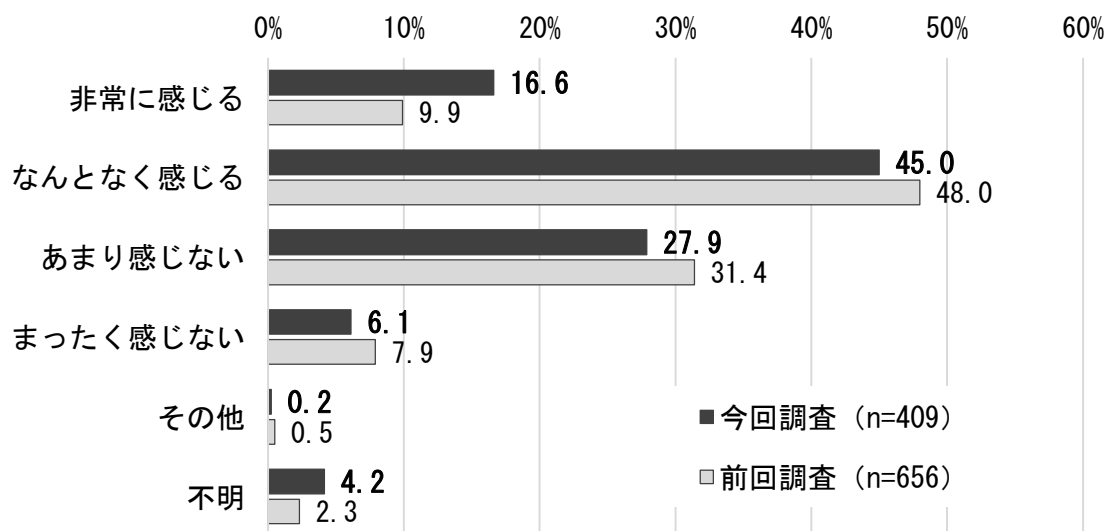
家庭の子育て、地域の子育て環境について

【子育ての不安や負担感】

問 24 子育てについて不安や負担を感じていますか。(1つに○)

今回調査では、「非常に感じる」が16.6%、「なんとなく感じる」が45.0%、合計すると61.6%の保護者が負担感を感じています。

前回の調査結果と比較すると、「非常に感じる」の割合が増加しています。



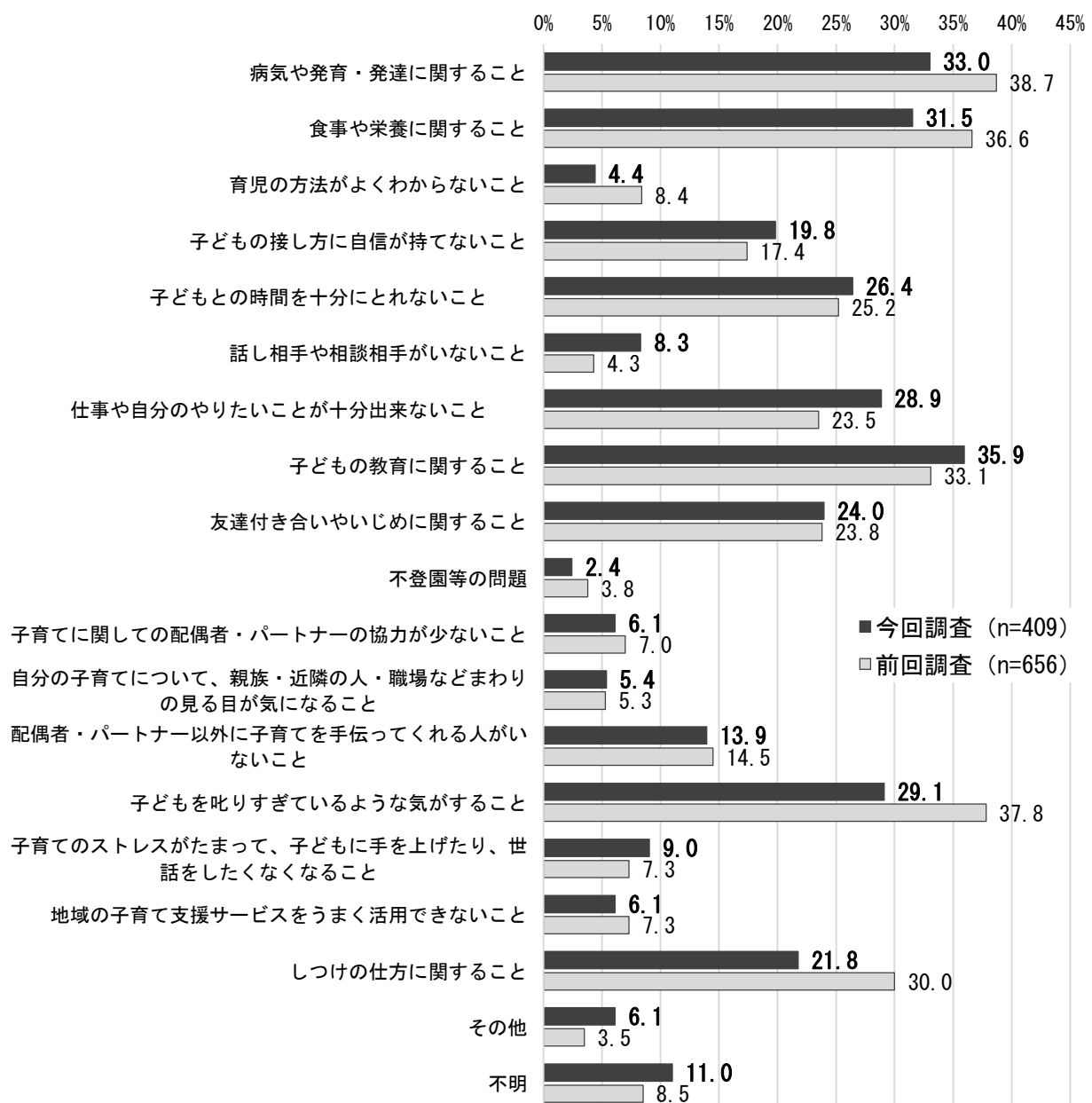
【悩み事や気になること】

問 25 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。(あてはまる番号全てに○)

今回調査では、「子どもの教育に関すること」が最も高く 35.9%、次いで「病気や発育・発達に関すること」が 33.0%、「食事や栄養に関すること」が 31.5%と続きます。

前回調査との比較では、「病気や発育・発達に関すること」や「食事や栄養に関すること」、「子どもを叱りすぎているような気がする」、「しつけの仕方に関すること」などの項目が減少しています。

一方で、「仕事や自分のやりたいことが十分出来ないこと」については、今回調査の方が増加しています。

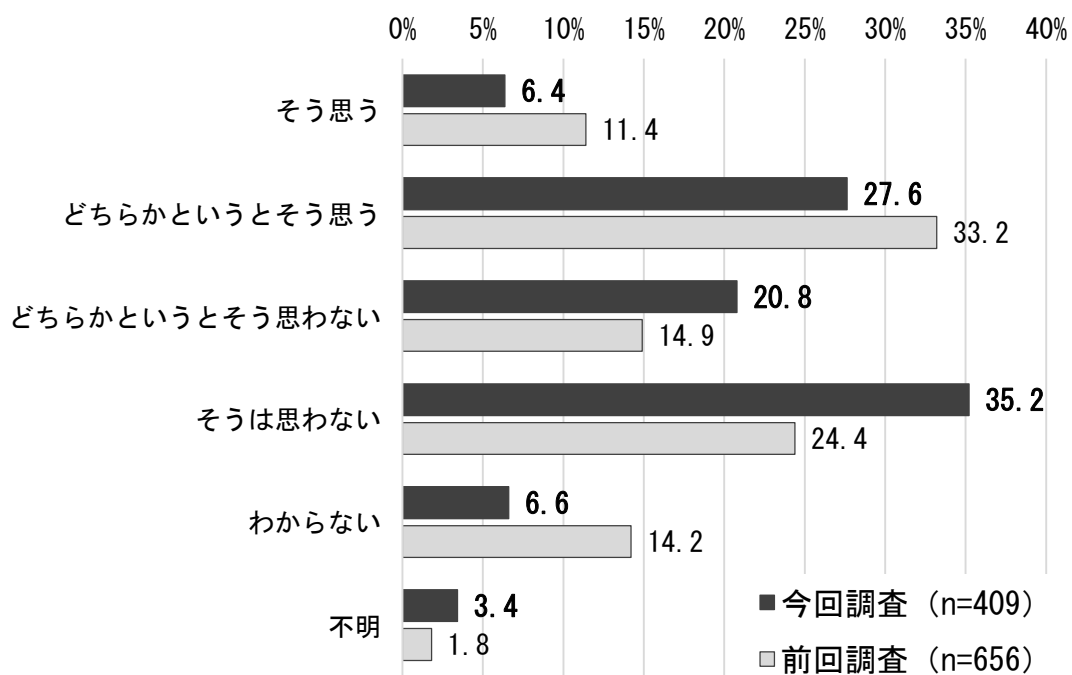


【中標津町は子育てしやすいまちだと思うか】

問 33 中標津町は、子育てをしやすいまちだと思いますか。（1つに○）

今回調査では「そう思う」が6.4%、「どちらかというと思う」が27.6%で、合計すると34%の保護者が、中標津町を子育てしやすいまちと評価しています。

前回調査との比較では、前回調査の「そう思う」が11.4%、「どちらかというと思う」が33.2%で、合計すると44.6%となっており、肯定的な評価は減少しています。

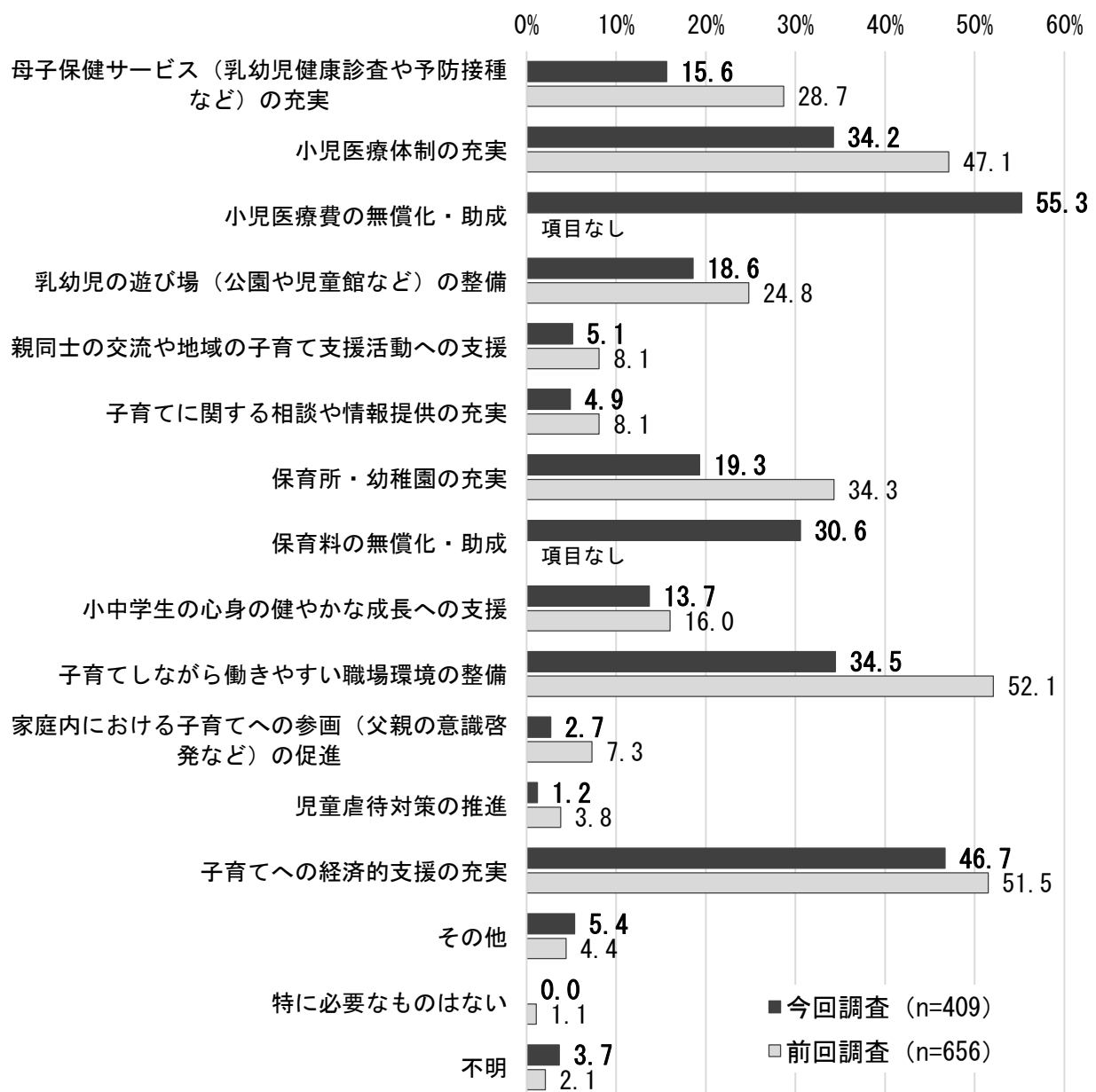


【子育てしやすいまちづくりのために重要だと思うこと】

問 36 子育てをしやすいまちづくりのために、今後どのようなことが最も重要だと思いますか。（主な番号3つまでに○）

今回調査では「小児医療費の無償化・助成」が最も高く 55.3%、次いで「子育てへの経済的支援の充実」が 46.7%と続いています。

前回調査との比較では、前回調査にはなかった項目である「小児医療費の無償化・助成」と「保育料の無償化・助成」を除くと、増加している項目はありません。一方でほとんど項目は、減少しており、特に「子育てしながら働きやすい職場環境の整備」と「保育所・幼稚園の充実」、「母子保健サービス（乳幼児健康診査や予防接種など）の充実」、「小児医療体制の充実」などが大きく減少しています。



Ⅲ 小学生の保護者に関する設問

小学生のお子さんについて

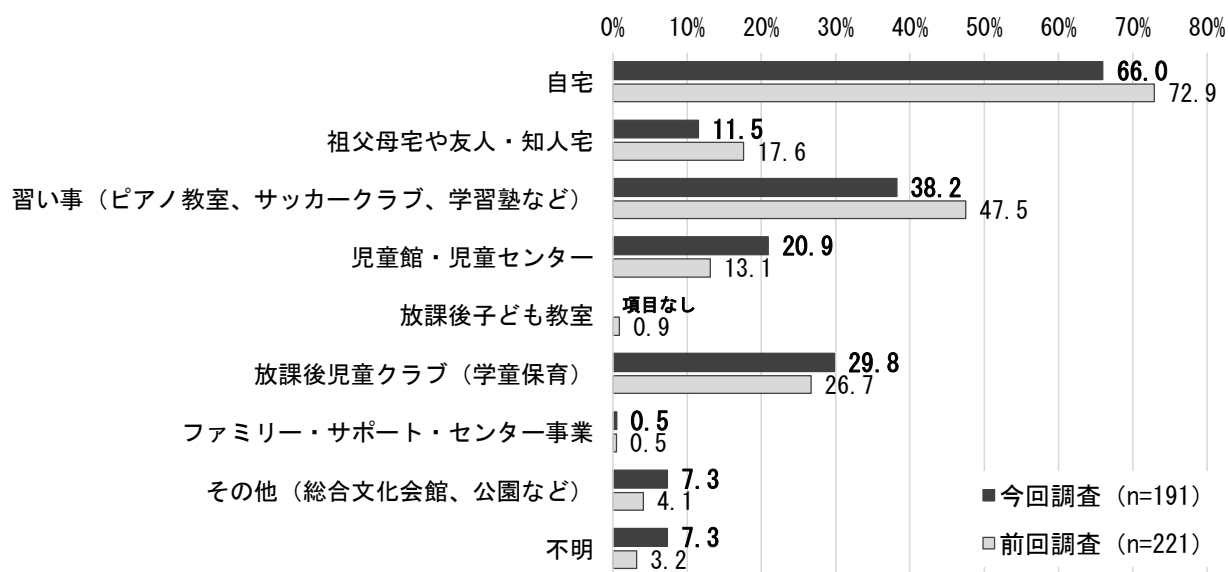
【放課後の過ごし方】

問 37 お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。低学年と高学年、それぞれの期間についてあてはまる番号全てに○をつけてください。

また、利用している日数を（放課後児童クラブの場合は利用している時間も）[]内に数字でご記入ください。※時間は必ず（例）18 時のように 24 時間制でご記入ください。

今回調査では、「自宅」が最も高く 66.0%、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 38.2%、「放課後児童クラブ（学童保育）」29.8%と続いています。

前回調査との比較では、「自宅」と「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が減少し、「児童館・児童センター」が増加しています。

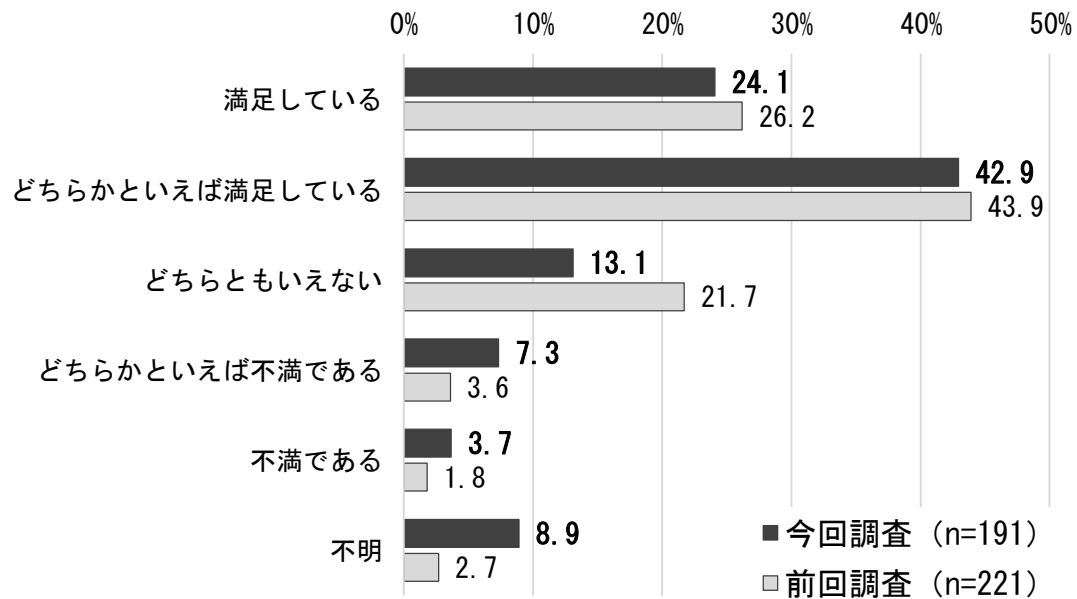


【小学校の教育に対する満足度】

問 38 お子さんが通う小学校の教育について、全体としては満足していますか。（1つに○）

今回調査では、「満足している」が24.1%、「どちらかといえば満足している」が42.9%で、合計すると67.0%の保護者が満足しています。

前回調査との比較では、「どちらともいえない」の割合が減少し、「どちらかといえば不満である」の割合がわずかながら増加しています。



【小学校に期待すること】

問 39 お子さんが通う小学校に特に期待することは、なんですか。（主な番号3つまでに○）

今回調査では、「基礎学力を身に付ける教育」が最も高く 55.5%、次いで、「表現力やコミュニケーション力を伸ばす教育」が 42.9%、「豊かな心を育てる教育」が 41.9%と続いています。

前回調査との比較については、前回調査があてはまるものすべてを選択する方式であったのに対し、今回は選択肢の選択を3つまでに限定していることから、順位の違いについてみると、前回調査で最も高いのは「基礎学力を身に付ける教育」で、次いで「いじめの防止や対応」、「教職員と子どもとの信頼関係」が続いています。

